

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	老人集会室整備運営補助			事業番号	011-076
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
			有	取組の方向性	⑥高齢者の社会参加と生きがい創出の支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	前期高齢者の要支援認定率		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	2.83%(2019年度)	目標値	2.30%(2025年度)
		寄与するKPI	有・無	取組	—	ターゲット	—
2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30（2018）～令和2（2020）年度）					
3	事業開始年度	平成 5 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市老人集会室整備費補助金交付要綱、堺市老人集会室運営補助金交付要綱					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁…施設整備補助 各区…施設運営補助					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	原則として、60歳以上の堺市民（約275,000人）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	高齢者にとって身近な地域活動の拠点となる施設を提供することで、高齢者の主体的な活動を促進し、高齢者福祉を増進することを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校区に老人集会室または老人集会所のいずれか1か所を基準として整備している。 老人集会室の整備・維持管理は、校区自治会や校区老人クラブで行い、市は新築・大規模改修や運営にかかる費用を補助している。 平成12年度以降、新たな老人集会所は整備せず、民設民営の老人集会室への転換を進めている。 					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	なし					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	校区自治会連合会、校区老人クラブ連合会					
10	公民連携・協働事業	なし					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
11 老人集会室設置数 (年度末現在)	件	目標値	53	53	53	54
		実績値	52	52		
		達成率	98%	98%		
当該指標を選定した理由		高齢者の活動が活発に行われる環境整備に繋がり、地域福祉の向上に寄与するため。 ※全小学校区（95校区）への整備を最終目標とする。				
目標値の設定根拠・算出方法		直近10年（H22～R2）の整備実績から令和7年度末までに新規設置を2件として目標値を見込む。				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 整備補助件数 (建替え及び大規模改修含む)	箇所	目標値	—	—	—	
		実績値	1 (新規整備)、2 (大規模改修)	3 (大規模改修)		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		高齢者のクラブ活動等の活動拠点の整備に繋がり、地域福祉の向上に寄与するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		整備にあたっては地域内での調整が完了するまでに時間を要することが多いため、目標値の設定は難しい。				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	老人集会室整備運営補助	事業番号	011-076
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		(単位：千円)				
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
13 事業費 (a)	6,264	37,784	46,264	12,264	40,264	
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（公共施設等特別整備基金）	3,000	34,520	43,000		37,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	3,264	3,264	3,264	12,264	3,264	
14 人件費 (b)	1,640	1,620	1,640	1,640	1,640	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	7,904	39,404	47,904	13,904	41,904	

事業費の内訳		(単位：千円)							
項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源	
					R2	決算			R3
16 事業費内訳	老人集会室整備補助金	R2	決算	9,000	9,000				
		R3	予算	37,000	0				
	(区予算)老人集会室運営補助金	R2	決算	3,264	3,264				
		R3	予算	3,264	3,264				
		R2	決算						
		R3	予算						
		R2	決算						
		R3	予算						
	R2	決算							
	R3	予算							

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	老人集会室設置数	箇所	52	52
	②	上記①にかかる年間経費	千円	39,404	13,904
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	757,769	267,385
備考 (算出についての説明等)					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>老人集会室への整備補助・運営費補助を行うことで、地域の高齢者の通いの場である施設の円滑な運営に貢献し、結果として高齢者福祉の向上に寄与している。</p> <p>現在、各小学校区に1か所を基準として老人集会室（所）を整備することを最終目標とし整備を図っているところである。当事業は整備費用の一部を補助しており、地域の負担軽減のために有用であると考えられる。</p> <p>また、老朽化した市立老人集会所から老人集会室に転換を図っている中で、当該補助がなければ、転換が進まず、老朽化した老人集会所の改修費など、さらなる費用負担が生じる可能性があることも踏まえると、費用対効果は高く、必要な補助であると考えられる。</p>
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>老人集会室は、地域の高齢者が、囲碁・将棋、体操・ダンス、カラオケ、書道、手芸などの老人クラブ活動を行う「通いの場」として活用されている。活動を行うことで、フレイル予防、介護予防につながり、その結果、前期高齢者の要支援認定率の減少に寄与している。</p> <p>また、身近な場所に活動拠点を整備することで、より一層、高齢者の外出の機会が増え、活動の活発化が期待できる。</p> <p>なお、事業にかかる年間経費のうち、老人集会室整備補助金については、地域が施設を整備する際に補助するものであり、行政主導ではないことから、流動的である。</p> <p>【整備実績】</p> <p>令和元年度 新規整備1件（補助額：2,992万）大規模改修2件（補助額：300万、160万）</p> <p>令和2年度 大規模改修3件（補助額：300万×3件）</p>